

島前合宿 2016 レポート

今回島前合宿に参加をして多くの事を学びました。私は昨年度の 2015 年度島前合宿にも参加をし、今回は二回目の合宿となりました。二回目ということもあり今回は運営係としてこの合宿に参加をしました。

まずはじめに島で行った活動について書いていきたいと思います。今回の島前合宿四泊五日の中での活動を通して多くの事を学ぶことが出来ました。その際に現地の方々に非常にお世話になりました。島民の方々のおかげで今回の合宿での企画を成功させる事が出来ました。本当に感謝しています。

一つ目は島にある西ノ島中学校の生徒との交流授業です。この企画は、島前地域には大学がなく、島の中学生に大学生とはどのようなものなのかを伝え、またその事を通じて中学生自身が自分の将来を考えるきっかけとする事を狙いとして行いました。中学生が自分自身の表現力を伸ばす事の出来るように、中学生が主体となり、大学生はそれをサポートする形で授業を行いました。私が担当した生徒は中学三年生の二人でした。受験の時期ということもあり、二人とも自身の進路について悩み、結論が出せていない状況でした。島に残るか、島の外に出て行くかなど都心では考える事のないような悩みも挙がりました。少しでも将来の道しるべを与えることが出来る為に考えた結果、私自身が日々生活する上で意識していること、大学生なるまでの取り組み方について中学生に伝えることにしました。日々生活する上で意識していることはいくつかありますが、私が中学生に伝えたことは、「毎日を楽しむのもつまらなくするのも自分の気持ち次第」というもので、どんな事に対してもプラス思考で考えて欲しいという事を伝えました。もう一つは「新しい事に積極的にチャレンジする」という事で、私自身も中学生の時に色々な事にチャレンジをした結果、充実した現在があると感じている為この考えを伝えました。中学生との交流授業を行う中で自分の経験や考えを中学生に伝えるだけではなく、自分自身の考え方や取り組みを見直す事が出来て良い機会になりました。

二つ目は島前地域の畜産について西ノ島町で畜産農業を営んでいる方のお話

を聞きました。一次産業は農業、林業、漁業があるといった大まかな知識はあったものの畜産についての知識が少なく専門的な内容を理解出来なかったことが反省点で事前に知識を蓄えていくべきだと実感しました。質問内容も「島の畜産」についてではなく、畜産農業についての基本的な質問になってしまいました。それでも農家さんの丁寧で分かりやすい説明のおかげで畜産農業に対する知識を理解する事が出来ました。主な内容として、他地域と西ノ島の畜産、放牧の方法が異なる事について知る事が出来ました。異なる点として起伏の激しい場所で放牧を行っていることなどが挙げられます。実際にお話を伺った後、魔天崖という標高の高い崖に連れて行って下さった際、その道中に馬や牛が放牧されており島での産業のあり方を実際に見て知る事が出来て良かったです。

三つ目は西ノ島町の行政で勤める方々のお話を聞きました。初めに観光客に対して配布される西ノ島町についての内容が書いてあるパンフレットの読み合わせを行いました。そこには町の人口や観光地の様子などインターネットに書かれている一般の情報のみ記載されており、それぞれの項目の現状や課題などを補足して説明させていただきました。その後自分たちの質問に答えていただくという形を取りました。各自が自分自身の疑問を質問する事が出来たので良い機会となりました。私は将来の方向性として地元の行政に勤めるという選択肢があります。それぞれの地域の良い点、改善したい点が少しでも知る事が出来たら良いという目的を持ってこの活動に取り組みました。結果として地方と私の生活している都市部では考え方や取り組み方が異なると実感しました。その中でも心に残ったことがいくつかあります。それらについて記述していきたいと思います。

一つ目は、IターンとUターンの人材受け入れについてで、島の人口を増やす上でこれらの人材を島に呼ぶ事が重要であると私は考えていました。しかし実際にはIターンの受け入れは難しいということが話しを聞く中で初めて知りました。その理由として島の生活に慣れるのに時間が掛かる事や仕事を一から与えなければならず、それらを予算の中でバランス良く行う事が課題だという事がわかりました。

二つ目は、観光について私は質問を伺いました。私自身二度隠岐の島に行き島の魅力を感じた事から、観光から定住の流れに変化させる事が出来るのではないかと感じていました。地元の行事、農業、漁業を体験しながら観光を行う体験型観光を行っているか伺ったところ、幾つかの事業は行っているが、季節

の問題、予算などの影響で、それらの観光は行ってないと知り、観光の面でも改善すべき点が幾つかあると感じました。

三つ目は、少子高齢化の問題について、それに対する対策はあるのかについて伺いました。出産する子供の数に応じて教育や医療などに補助金を出し、問題解決に取り組んでいることが分かりました。また現在は少子化問題の根本の原因として若者が結婚をしないという事があります。西ノ島町でも問題になっている事の問題に対して今後婚活の事業を積極的に行うことが分かりました。このように町役場の方々から多くの事を学び、多くの事を自分自身考える事が出来ました。これからも様々な自治体に顔を出してその地域の政策などを知りたいと感じました。その為には積極的な行動が求められるので意識していきたいです。

この島前合宿の中で学習以外の時間にも多くの事を学ぶ事が出来ました。昨年行った際にも強く感じましたが、一番は島の人々の温かさです。都会で生活をしていると人と人との繋がりが薄いと感じます。何故なら島にいる時は多くの住民の方々が声を掛けて下さり、コミュニケーションを取ることが出来ました。多くの人々のイメージでは都会の技術や生活を山間地域や離島の地域が参考にするとなっていますが、そのような地域の人々との繋がりがあ文化を都市部でも参考するべきであると感じました。また四日目に島の観光をした際には1732年改築の焼火神社に行きました。焼火神社は国指定重要文化財で海上守護神として島のパワースポットとも言われています。その神社に行くまでに雨の山道を登って行った為辛かったです。ここでも都会ではなかなか見る事の出来ない自然の絶景を堪能する事が出来て良かったです。その他では、しゃもじを持って踊るキンニャモニャ祭りに参加をして昨年同様に島の内外の方々と一緒に踊らせていただきました。個人的に祭り限定のしゃもじを貰う事が出来て良かったです。夜に星を見た際には昨年以上に綺麗に星を観察する事が出来てとても感動しました。全て島に行かなければ出来ない体験なので本当に良かったです。

最後に運営を行うにあたって、今回運営係は自分を含めて四人いましたが正直他の三人メンバーに負んぶに抱っこ状態でした。それでも何とかこの2016年島前合宿を成功させる事が出来ました。それは他の運営係の三人と一緒に研修に参加したメンバー、そして島に住む方々のおかげだと感じています。本当に良い体験が出来ました。ありがとうございます。今回学んだ経験を今後自分自

身で何かしらの形にしなければ意味がありません。日々の生活や学習に活かす為、日々精進していきたいと思えます。